

隨泉寺寺報

2002 年 8 月号 第384号 082-892-0217

浄土真宗本願寺派 高峯山隨泉寺

お盆法座・初盆追悼法要

講師 住職 自修

講題「お盆を迎えるにあたって」

今年も23才から91才まで沢山の人がなくなられ、初盆を迎えられます。みなさん お寂しい事と思います。それぞれにそれぞれの人生があり、縁の深い人にとっては、今年も特別のお盆だと思います。出来ることならもう一度逢いたい、声が聞きたいとお盆が懐かしい事と思います。

《丸岡町の日本一短い手紙の【ふるさとへの想い】》のなかに「場所よりも人なんだよね じいちゃんのいない あの家 もうふるさとのにおい ないよ」[今年も、父もあなたの一部になりました。優しく眠らせてください。]

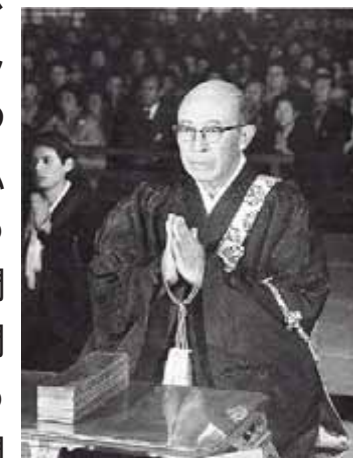
[お母さん、故郷は人です。あなたを失った今、わかりました。]

それぞれ大切な人を見送られ、ふるさとへの想いが変わった人々もあるかと思えます。なくなられた方のご恩を偲びながら大切に勤めさせて頂きましょう。

8月の行事予定

- 8月6日(火)～7日(水)……少年少女のつどい一泊研修会
- 8月7日(水)……少年少女のつどい一日研修会
- 8月16日朝席午前10時より……お盆法座座
- 8月16日昼席午後1時半より……初盆追悼法要

●去る6月14日(金曜日)ご遷化された第23代宗主勝如上人(しょうによしょうにん/大谷光照前門様)のご葬儀が、7月18日午後1時より、本願寺総御堂において厳修された。遠近各地より一万三千人を越える多数の僧侶、門信徒の皆さんがご会葬をされました。お導師の今小路覚真様が表白で「前門様の御遺徳を偲びつつ、いよいよ聞法求道に精進いたしたいとおもいます。このうえは還相の悲用(ひゆう)によってお浄土から私どもを照らし、お導きくださるようお願いしています」と述べられた。前門様は《形ばかりの僧侶、名ばかりの門徒》になっていないかと親が子を思うように優しくお示しでした。私も前門さまに僧侶としての心得を教えて頂きました。



また 広島カープのオーナー《松田耕平》さんが亡くなりました。《マツダ》の社長としてロータリーエンジンの開発に情熱を注ぎ、広島カープの育ての親として広島県民に夢を与えてくださいました。広島別院の参与として安芸教区の為にもご尽力をいただきました。カープの選手達は口々に自分の親のような存在だったといっています。

前門様も松田オーナーもそれは願いを持っておられたと言えるでしょう。親鸞聖人も、「師」法然上人に出逢われた中で、「たとえ法然様にだまされて、地獄に堕ちたとしても、全く後悔することはありません。」とまで仰って、その出逢いを喜ばれています。それほどまでに、師匠との出逢いというのは素晴らしいものであったのかと、あらためて気付かされたことです。法然様を通して、「汝を引き受けるぞ」という「本物の願い」に出遇われたということですね。素晴らしい人格を通して、自らのよりどころとなる「本願」に出遇えたところに、親鸞聖人の大いなる喜びがあったのだらうと思います。

初盆を迎えて

新年を迎えて間もない一月十日、東広島市の施設に入所中の夫（洋）が85才で急死いたしました。

「生者必滅」「会者定離」という事を常々お聴かせいただきながら 気が転倒するばかりの私でございました。死の三日前（一月七日）元気で雑談し、次の再会（一月十三日）を約束して 帰ったばかりでしたので 信じられなくて涙も出ませんでした。人さまから いろいろとお悔やみの言葉をいただきながらも 返事も出来ない程 お恥ずかしい私でございました。

一日一日と日が経つにつれ 寂しさも一層つゆのり 実感が湧きますのに随分時間がかかりました。毎日朝晩仏壇におまいりしては お話をしております。

顧みますと、結婚生活六十年になりますが、結婚した当日（昭和17年3月）私に言った 言葉が 今でも忘れられません。「特に何も言う事はないが、お父さん、お母さんを大事にしてくれ、」と申しました。若い私にとっては びっくりしましたが、その夫の一言は現在でも忘れる事が出来ません。

身体障害者の父、その父に献身的に仕えて来た母の姿を小さい時から見ていて 僥いなかったのだらうと思います。とにかく両親には驚く程よく尽くしておりました。私も夫を見習って 両親が喜ばれる事を心掛けるように致しましたが 到底夫には及びませんでした。

父は昭和52年1月、母は57年12月に安らかに往生させていただきました。夫は年齢と共に体調優れず 施設に入所させていただきましたが、皆さまに大変よくしていただき 何時も感謝の言葉を私に言っておりました。施設では毎月ご法座があり その度に一番前に座ってお聴聞しているという事を施設のお方から お聞きして私は本当に嬉しゅうございました。きっと「阿弥陀如来さまのお慈悲の光の中に優しく包まれて生活させていただいている幸せ」をかみしめていたのだらうと思います。今もお浄土で両親と手を取り合って私を見守っていて呉れている事と信じています。

ただ、心残りがいたしますのは、地域の皆さまに何彼と大変お世話になりながら 何一つご恩返しが出来なかった事でございます。が 夫はきっと皆さまに掌を合わせて「ありがとう ございました」とお礼申していると思います。どうぞ皆さま、夫をお許しになって下さいませ。

初盆を迎えるに当り 雑感を申し延べさせていただきました。

本当にありがとう ございました。南無阿弥陀仏。 合掌

平原 千鶴子

平成14年に初盆を迎えられる方

	俗名	法名	命日	行年	地区
1	山田	チエ子 釋智深	平成13年8月14日	83才	鴨ノ巣
2	岡本	重隆 釋重誓	平成13年9月4日	70才	中須賀
3	和田	ヒテコ 釋明秀	平成13年9月8日	76才	望ヶ丘
4	和田	アキエ 釋唯明	平成13年9月11日	84才	町外
5	閑田	和幸 釋和真	平成13年9月14日	23才	望ヶ丘
6	嶋田	フサ子 釋深妙	平成13年9月19日	79才	町外
7	田畑	新 釋誓新	平成13年10月6日	85才	上平第一
8	上田	和季 釋和然	平成13年10月9日	67才	瀬野
9	長岡	作一 釋明善	平成13年10月9日	91才	上平第一
10	和田	龍雄 釋龍宣	平成13年10月27日	86才	町外
11	米廣	敏美 釋尼清弘	平成13年11月1日	82才	井原
12	大谷	八重子 釋蓮證	平成13年11月14日	76才	平原西
13	岩井	良治 釋良証	平成13年11月28日	39才	上平第二
14	宇多	和子 釋清和	平成13年12月1日	68才	望ヶ丘
15	濱井	晋二 釋晋浄	平成13年12月1日	56才	コモンライフ
16	祭田	成治 釋成証	平成13年12月2日	64才	井原
17	助信	明 釋勝信	平成13年12月8日	89才	望ヶ丘
18	吉田	福三 釋正真	平成13年12月16日	86才	東長者原
19	池田	恵一 釋恵証	平成13年12月17日	54才	町外
20	平原	洋 慈光院釋大智	平成14年1月10日	85才	平原東
21	片平	学 釋学慧	平成14年1月14日	80才	出宮
22	岩本	幸江 釋浄光	平成14年1月22日	66才	上平第二
23	七竹	馨 釋義空	平成14年1月28日	84才	上平第一
24	曾根	春喜 釋歡喜	平成14年2月3日	85才	中須賀
25	坂田	千鶴 釋千称	平成14年2月9日	89才	町外
26	河野	美登里 釋妙美	平成14年2月26日	27才	荒野
27	濱本	義春 釋証義	平成14年3月6日	63才	中須賀
28	西川	百合子 釋尼澄好	平成14年3月24日	77才	西長者原
29	長谷	典夫 釋浄典	平成14年3月30日	55才	井原
30	日高	スマコ 釋珠光	平成14年4月16日	80才	瀬野川団地
31	高野	サチ子 釋香上	平成14年4月22日	69才	上平第一
32	廣川	和明 釋浄明	平成14年5月2日	64才	町外
33	宮崎	政雄 釋最勝	平成14年5月8日	78才	町外
34	石本	ミヨノ 釋明光	平成14年5月11日	77才	高部
35	中本	玲子 慈善院釋顕浄	平成14年5月15日	76才	町外
36	古河	廣 釋廣大	平成14年5月27日	77才	中須賀
37	池元	洋子 釋明珠	平成14年6月16日	32才	荒野
38	中本	清三 釋清浄	平成14年7月18日	72才	上平第二
39	宮崎	トシエ 釋心照	平成14年7月19日	81才	望ヶ丘